

1. 平成28年度事業計画及び収支予算について

【基本方針】

本年は、工業会創立30周年という節目の時であり、記念事業を成功裡に終わらせることがまずは大きな使命であります。これからの工業会の活動10年をどのように進めていくかという方向性が見えるものにすべく、担当する委員会を中心に、会員全員で知恵を絞ってまいりたいと思います。

また、すでにお話を出しており、一部活動はスタートしておりますが、若手経営者部会と、ビジネスマッチング部会を新たに立ち上げ、工業会として正式に承認したいと思います。これにより部会は、女性部会（いろはの会）とあわせて3つになります。

次に、今後の工業会活動の更なる活性化のために、9月に理事会を実施し、10月から支部体制を導入したいと思います。一般社団法人移行の際に、定款上には規定を盛り込みましたが、それを具体化したいと思います。地区割りにつきましては、案を作りまして皆様に改めてご提案したいと思います。

【会員増強】

昨年の総会では、年間20社の会員増を目標といたしましたが、27年度の報告でもお話しした通り、残念ながらまだ達成できておりません。石巻地区の企業さん（産学官交流推進協議会）の勧誘につきましては、引き続き努力してまいります。また今回総務委員会からの提案があり、今年度、会員増強のためのキャンペーンを計画しております。

【委員会活動】

今年度は、30周年事業を中心とした活動になると思われます。また、委員会が基本的には理事会員をメンバーとして構成されておりますが、多くの一般会員にも工業会活動を理解していただくため、特に新入会員については、どこかの委員会に入会時から参加してもらう方向で考えております。各委員会の主たる計画は以下の通りです。

（1）政策委員会

- ・新規受託事業の検討
- ・副知事懇談会の企画
- ・新規部会の創生
- ・ビジネスマッチング部会のフォロー

（2）総務委員会

- ・理事会、総会上程事項の検討
- ・新役員体制の構築
- ・各種規程類の作成、修正
- ・会員増強策の検討
- ・経営基盤強化の検討

（3）交流推進委員会

- ・30周年記念事業の企画実行

* 記念講演、会員企業展示会、産学官交流会 他

- ・ 県内各地との広域連携推進
- ・ 工業会サロンの開催とフォロー

(4) 技術交流委員会

- ・ 県内企業見学会 企画、実行
- ・ 県外企業見学会 企画、実行
- ・ みやぎ優れMONO発信事業のフォロー
- ・ 新たな技術動向等に関するセミナー企画

(5) 情報委員会

- ・ 年間 2 回の機関誌 MIA REPORT 発行
- ・ 創立 30 周年記念誌の発行
 - * 新たな 10 年に向かって読んでもらえるような企画記事
- ・ 見やすいHP への見直しと Facebook の活用
 - * 会員企業パネルコンテンツ（企業紹介）との連動

(6) 経営基盤委員会

- ・ 中小企業の人材確保、育成に関する諸問題検討
- ・ プロ人材戦略拠点受託事業のフォロー
- ・ 委員会委員企業訪問見学会
- ・ 電力事情に関する調査、研究

【受託事業】

<みやぎ優れMONO発信事業>

これまでの県からの委託が平成 28 年 3 月末をもって終了しましたが、事業自体は継続すべきだという意見が強かったため、この事業の実行委員会から工業会が新たに委託を受け従来と同様な形態にて継続することになりました。昨年度は、認定企業が 9 社にのぼり、大変賑わいました。今年度も各機関と連携を図りながら認定企業を増やしていこうと考えております。また、なかなか進んでいない各社の認定製品の売上増のため、さらに工夫してまいります。

<航空機共同受注体事務局事業>

昨年度は、かなり限定された事業となったため、十分な活動ができませんでしたが、今年度は活動を活性化すべく事業費をアップした計画を経産省の方に申請しております。今後はこの地域の関連する企業にもっと参加してもらえる活動をしてまいります。

<プロフェッショナル人材戦略拠点事業>

実質は、メンバーが揃った今年 1 月から動き出しており、今年度が、まさしく本番の年となります。復興途上ということもあり、人材不足につき、県内中小企業も問題意識は持っているものの、なかなかプロ人材の採用となると厳しい状況にあります。今後各支援団体

とも連携を図りながら、各企業に対する人材に関する掘り起こしとコンサルを継続してまいります。

【平成 28 年度収支予算】

会費収入に関しては、3 月の実績数で計上しており、前年度予定し収入に組み込んだ会員増強については、今年度も未確定な部分があるため、今回計上はしておりません。しかし、昨年新規の受託事業が 11 月にスタートし、そこからの管理費等により現在の収支ではプラスになっております。また、そのほかの事業についても現状未確定のものについては計上しておりません。しかし、前々年度の反省もあり、基本的には受託事業の管理費に依存しないような事業運営を進めてまいりたいと考えております。そうした意味から、今年度会員増強プラス 20 社は必須で、中期的目標として、総数で 400 社を目指してまいります。会員増強のキャンペーンもスタートしますので、会員各位のご協力をお願いいたします。

本年も事務局経費の削減に努めながら、効率的な運営を行ってまいります。

【創立 30 周年記念事業】

記念事業費代として 500 万円の積み立てを行ってまいりましたが、この範囲で出来るだけ工夫をして実りある事業にしたいと思っております。一方、この地域の中小企業の特徴として、企業側からの積極的プレゼンが足りないということもあり、企業紹介パネルを保有していない企業もあります。そこで、これを機に、各企業のパネルを作成、一同に集めて皆さんに紹介してまいりたいと考えており、記念事業の中身としては、工業会会員企業の展示会を柱と考えております。

【広域連携】

□ 全国大都市の若手経営者の会(全国 11 都市)に、横浜市工連からのお誘いもあり、ここ 2 年オブザーバーとして無料で参加させていただいておりましたが、正式メンバーとしてのお誘いもあり、今年度からは、全国の会に正式に加入し、全国のメンバーと研鑽を積んでまいりたいと思っております。その目的で、工業会の中に、従来取り組んだフロネシス 21 を母体とするメンバーで、若手経営者部会を創設したいと考えております。

□ 県内の広域連携としては、定款で規定されている支部体制を具体的に構築し、各支部でも独自の活動を企画し、地域の会員その他に積極的に参加してもらえるような働きかけをしてまいりたいと思っております。

以上